

令和4年度  
未来を切り拓く  
Dream授業  
報告書

令和4年8月2日～8月5日



静岡県スポーツ文化観光部総合教育局総合教育課

# 目 次

1	授業概要	1
2	授業開催までの流れ	2
3	受講者の概要	3
4	授業スケジュール	5
5	講師・講義内容一覧	6
6	授業の様子	7
7	グループディスカッション・発表	12
8	受講者の振り返り	16
9	受講者アンケート集計結果	17
10	保護者の感想	19
11	ユースリーダー	21

# 1 授業概要

- 1 日 程 令和4年8月2日（火）から8月5日（金）まで（3泊4日）
- 2 方 法 対面及びオンラインによる講義、グループディスカッション及び発表
- 3 会 場 静岡県総合教育センター（掛川市富部 456 番地）
- 4 受 講 生 県内の中学1・2年生 30名（応募者 114名）

## 5 授業の概要

### (1) 各界を代表する講師陣による講義【世界・地域を知る】(50音順、敬称略)

講師	役職等
渥美 万奈	ソフトボール元日本代表、東京オリンピック金メダリスト
加藤 種男	アーツカウンシルしずおかアーツカウンシル長
加藤 百合子	株式会社エムスクエア・ラボ代表取締役
川勝 平太	静岡県知事
杉田 精司	東京大学大学院理学研究科教授
高畑 幸	静岡県立大学国際関係学部教授
矢野 弘典	(一社)ふじのくにづくり支援センター理事長、前横綱審議委員会委員長
S P A C	県立劇団（演劇、舞台芸術）

### (2) A L Tとの交流【世界に触れる】

世界各国から静岡県に来ているA L Tと交流

### (3) 俳優による表現指導等【完成・表現を磨く】

現役の劇団俳優によるデモンストレーションとワークショップ

### (4) 同世代の仲間とのディスカッション【感性を磨く】

異なる志を持つ同世代の仲間とのグループディスカッション

### (5) 発表【表現を磨く】

グループディスカッションの結果をまとめ、発表

## 2 授業開催までの流れ

### 1 受講生募集

5月27日までに、県内全ての中学校（国立・公立・私立）に募集リーフレットを送付し、中学1・2年生一人一人へリーフレットを配布するよう依頼した。

6月2日、県ホームページ上に募集要項、申込書等を掲載し、受講生の募集を広報した。申込みに当たっては、所定の申込書とともに、将来の夢等に関する作文の提出を求めた。

6月6日から7月1日までの受付期間内に、定員30名を超える114名の申込があった。

### 2 受講生決定

30名の定員を超える114名からの申し込みがあったため、抽選で受講生30名を選定した。

7月7日、受講生に対し受講の決定を通知した。また、抽選に漏れた者、補欠者にはその旨を通知した。

受講決定した30名のうち1名が新型コロナウイルス感染症への感染を懸念し受講を辞退したため、補欠者1名の受講を決定し、その旨を通知した。

### 3 事前課題

受講生には、受講決定通知の際、7月19日までに事前課題を提出するよう求めた。

事前課題の内容は「理想のまち（街・町）」についての作文であり、授業のグループディスカッションのテーマである「理想のまちをつくろう」につながる内容を題材として設定した。

【印刷用】事前課題について

事前課題について

<作成上の注意>

- ・日本語（授業者）で記入してください。
- ・授業者（先生）本人の自筆により記入してください。
- ・裏のボールペンまたは鉛筆で記入してください。
- ・印刷量が不足する場合は、別の用紙に記入してください（様式自由）。

授業者（先生）氏名

〇今年あなたが思っている夢や次の授業の授業の時間になったら、どのような「まち（街・町）」にしたいか思い描きますか。今年思っている「まち（街・町）」の特徴や課題等をあげながら、あなたが考える理想の「まち（街・町）」を説明してください（説明できるかどうかは考えず、自分の理想を書きつけてください）。

授業者（先生）氏名

〇枚数不足しない場合は裏面に印刷（様式自由）を利用してください。

### 4 グループ編成

授業中に多様な意見や考えに接することができるように、受講生から提出のあった事前課題の内容や、学年、性別、居住地等ができるだけ重ならないように配慮し、男女3名ずつ計6名の研修班を編成した。

宿泊については、男女別5名の宿泊班を編成した。

### 5 ユースリーダーの協力依頼

過去の「未来を切り拓くDream授業」及び「日本の次世代リーダー養成塾」の参加者に、授業の運営の補助やグループディスカッションにおける助言を行うユースリーダーとしての協力を呼び掛けた。

4月28日に協力を依頼し、6月6日までの応募期間に18名の申込があったため、学年や性別等を考慮し7名を選定した。

### 3 受講生の概要

#### 1 受講生の学年・性別

学年	男子	女子	計
中学1年生	10	8	18
中学2年生	5	7	12
計	15	15	30

#### 2 受講生の所属中学校一覧

※（ ）内の数字は2人以上の場合の人数

受講生居住市町	学 校 名	
静岡市(7)	静岡市立豊田中学校	静岡市立末広中学校
	静岡市立大河内中学校	静岡市立蒲原中学校
	静岡学園中学校(2)	静岡雙葉中学校
浜松市(7)	浜松市立丸塚中学校(2)	浜松市立積志中学校
	静岡県立浜松西高等学校中等部	静岡大学教育学部附属浜松中学校
	浜松日体中学校	静岡県西遠女子学園中学校
富士市(2)	富士市立岳陽中学校	富士市立富士南中学校
沼津市(2)	沼津市立金岡中学校	日本大学三島中学校
袋井市(2)	袋井市立袋井南中学校	袋井市立周南中学校
湖西市(2)	湖西市立湖西中学校	湖西市立新居中中学校
御殿場市	御殿場市立南中学校	
裾野市	裾野市立富岡中学校	
富士宮市	富士宮市立大富士中学校	
藤枝市	静岡大学教育学部附属島田中学校	
牧之原市	牧之原市立相良中学校	
菊川市	菊川市立菊川西中学校	
掛川市	掛川市立桜が丘中学校	
磐田市	静岡大学教育学部附属島田中学校	

### 3 在籍学校種別

種類	人数
国立	3
公立	21
私立	6
計	30

### 4 将来の夢（複数回答）

将来の夢	人数	将来の夢	人数
社会や他者に貢献する仕事	4	医師	1
獣医	2	インテリアデザイナー	1
弁護士	2	映像クリエイター	1
宇宙飛行士 宇宙に関連する仕事	2	歴史学者	1
スポーツトレーナー	1	科学者	1
スポーツ栄養管理士	1	カフェを開く	1
教師	1	会社の社長	1
看護師	1	農家	1
国連職員	1	バドミントン選手	1
自衛官	1	ものづくりの仕事	1
政治家	1	薬剤師	1
刑事	1	小説家	1

# 4 授業スケジュール

令和4年度未来を切り拓くDream授業 日程					
	8月2日(火)	8月3日(水)	8月4日(木)	8月5日(金)	
6:30		起床	起床	起床 寝具運搬	6:30
7:00	【参加者数】 30人 【研修グループ】 A～E班 (各グループ6人) 【宿泊グループ】 1～6班 (各グループ5人)	朝食 食堂	朝食 食堂	朝食 食堂	7:00
8:00		掃除等 準備	掃除等 準備	掃除等 荷物整理	8:00
9:00		第一会議室 講義④ 杉田精司講師	移動(バス)	第一会議室	9:00
10:00		レポート 振り返り 準備 体育館	菊川市倉沢地区 菊川ジュニアビレッジで 活動&交流	グループディスカッションIII	10:00
11:00	受付 事務連絡	講義⑤ 渥美万奈講師	菊川市倉沢地区 講義⑧ 加藤百合子講師	第一会議室 発表・審査	11:00
12:00	昼食 第一会議室	レポート 振り返り 移動	移動(バス)	発表・審査	12:00
13:00	開講式 第一会議室 講義① 川勝平太講師	昼食 第一会議室	着替え 研修室11	講評 昼食 第一会議室	13:00
14:00	レポート 振り返り 準備 第一会議室	移動 会場準備 講義⑥ 高畑幸講師	昼食 研修室11	会場準備 レポート 第一会議室	14:00
15:00	講義② 矢野弘典講師	外国人学生やALTとの交流①	レポート・振り返り 会場準備 研修室11	レポート 第一会議室 全体の振り返り 第一会議室	15:00
16:00	レポート 振り返り 準備 第一会議室	外国人学生やALTとの交流②	【オリエンテーション】 (グループディスカッションに 関する内容)	全体の振り返り 閉講式 記念撮影 解散	16:00
17:00	講義③ 加藤種男講師	レポート 振り返り 移動・着替え 第一会議室 体育館	振り返り 移動・会場準備 研修室11		17:00
18:00	レポート 振り返り 移動・準備	講義⑦ SPAC講師 (講義+身体表現)	グループディスカッションI		18:00
19:00	夕食 食堂	移動・準備	移動		19:00
20:00	移動・準備 第一会議室	振り返り・着替え 移動 食堂	夕食 食堂 移動・準備 研修室11		20:00
21:00	【オリエンテーション】 ・自己紹介 ・アイスブレイキング ・生活に関する連絡 ホームルーム	夕食 食堂	移動・準備 研修室11	グループディスカッションII	21:00
22:00	就寝準備 就寝	移動・準備 第一会議室	移動・準備 研修室11	中間発表 (発表に関する注意事項) 研修室11	22:00
23:00	入浴	〈Dream Time〉 ・ユースリーダーと夢を語る ・中学生同士で夢を語る ・2日間の振り返り	移動 研修室11		23:00
24:00	入浴		移動 研修室11		24:00
25:00	入浴		移動 研修室11		25:00
26:00	入浴		移動 研修室11		26:00
27:00	入浴		移動 研修室11		27:00
28:00	入浴		移動 研修室11		28:00
29:00	入浴		移動 研修室11		29:00
30:00	入浴		移動 研修室11		30:00
31:00	入浴		移動 研修室11		31:00
32:00	入浴		移動 研修室11		32:00
33:00	入浴		移動 研修室11		33:00
34:00	入浴		移動 研修室11		34:00
35:00	入浴		移動 研修室11		35:00
36:00	入浴		移動 研修室11		36:00
37:00	入浴		移動 研修室11		37:00
38:00	入浴		移動 研修室11		38:00
39:00	入浴		移動 研修室11		39:00
40:00	入浴		移動 研修室11		40:00
41:00	入浴		移動 研修室11		41:00
42:00	入浴		移動 研修室11		42:00
43:00	入浴		移動 研修室11		43:00
44:00	入浴		移動 研修室11		44:00
45:00	入浴		移動 研修室11		45:00
46:00	入浴		移動 研修室11		46:00
47:00	入浴		移動 研修室11		47:00
48:00	入浴		移動 研修室11		48:00
49:00	入浴		移動 研修室11		49:00
50:00	入浴		移動 研修室11		50:00
51:00	入浴		移動 研修室11		51:00
52:00	入浴		移動 研修室11		52:00
53:00	入浴		移動 研修室11		53:00
54:00	入浴		移動 研修室11		54:00
55:00	入浴		移動 研修室11		55:00
56:00	入浴		移動 研修室11		56:00
57:00	入浴		移動 研修室11		57:00
58:00	入浴		移動 研修室11		58:00
59:00	入浴		移動 研修室11		59:00
60:00	入浴		移動 研修室11		60:00
61:00	入浴		移動 研修室11		61:00
62:00	入浴		移動 研修室11		62:00
63:00	入浴		移動 研修室11		63:00
64:00	入浴		移動 研修室11		64:00
65:00	入浴		移動 研修室11		65:00
66:00	入浴		移動 研修室11		66:00
67:00	入浴		移動 研修室11		67:00
68:00	入浴		移動 研修室11		68:00
69:00	入浴		移動 研修室11		69:00
70:00	入浴		移動 研修室11		70:00
71:00	入浴		移動 研修室11		71:00
72:00	入浴		移動 研修室11		72:00
73:00	入浴		移動 研修室11		73:00
74:00	入浴		移動 研修室11		74:00
75:00	入浴		移動 研修室11		75:00
76:00	入浴		移動 研修室11		76:00
77:00	入浴		移動 研修室11		77:00
78:00	入浴		移動 研修室11		78:00
79:00	入浴		移動 研修室11		79:00
80:00	入浴		移動 研修室11		80:00
81:00	入浴		移動 研修室11		81:00
82:00	入浴		移動 研修室11		82:00
83:00	入浴		移動 研修室11		83:00
84:00	入浴		移動 研修室11		84:00
85:00	入浴		移動 研修室11		85:00
86:00	入浴		移動 研修室11		86:00
87:00	入浴		移動 研修室11		87:00
88:00	入浴		移動 研修室11		88:00
89:00	入浴		移動 研修室11		89:00
90:00	入浴		移動 研修室11		90:00
91:00	入浴		移動 研修室11		91:00
92:00	入浴		移動 研修室11		92:00
93:00	入浴		移動 研修室11		93:00
94:00	入浴		移動 研修室11		94:00
95:00	入浴		移動 研修室11		95:00
96:00	入浴		移動 研修室11		96:00
97:00	入浴		移動 研修室11		97:00
98:00	入浴		移動 研修室11		98:00
99:00	入浴		移動 研修室11		99:00
100:00	入浴		移動 研修室11		100:00

## 5 講師・講義内容一覧

(講義順、敬称略)

- 1 川勝 平太 / 静岡県知事  
講義内容：子どもたちへのメッセージ  
日 時：8月2日(火) 13時～14時  
場 所：静岡県総合教育センター 第一会議室
- 2 矢野 弘典 / (一社)ふじのくにづくり支援センター理事長  
講義内容：心のカンバスに夢を描こう  
日 時：8月2日(火) 14時45分～15時45分  
場 所：静岡県総合教育センター 第一会議室
- 3 加藤 種男 / アーツカウンシルしずおか アーツカウンシル長  
講義内容：アートはおまつりだ!! (オンライン講義)  
日 時：8月2日(火) 16時30分～17時30分  
場 所：静岡県総合教育センター 第一会議室
- 4 杉田 精司 / 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻 教授  
講義内容：探索機はやぶさ2が宇宙に探る生命の起源 (オンライン講義)  
日 時：8月3日(水) 8時～9時  
場 所：静岡県総合教育センター 第一会議室
- 5 渥美 万奈 / ソフトボール元日本代表 東京五輪金メダリスト  
講義内容：夢を叶えるために  
日 時：8月3日(水) 9時45分～10時45分  
場 所：静岡県総合教育センター 体育館
- 6 高畑 幸 / 静岡県立大学国際関係学部 教授  
講義内容：多文化共生ってなんだろう  
日 時：8月3日(水) 12時30分～15時  
場 所：静岡県総合教育センター 第一会議室
- 7 SPAC / (公財) 静岡県舞台芸術センター  
講義内容：静岡から世界へ 舞台俳優の仕事について  
日 時：8月3日(水) 15時45分～16時45分  
場 所：静岡県総合教育センター 第一会議室、体育館
- 8 加藤 百合子 / 株式会社エムスクエア・ラボ代表取締役  
講義内容：自分を表現しよう!  
日 時：8月4日(木) 9時～11時15分  
場 所：せんがまちの棚田、上倉沢公会堂





## 6 授業の様子

(講義順・敬称略)

### ○川勝平太講師「子どもたちへのメッセージ」



- 最初の講義、かつ県知事の講義であるので、緊張した面持ちで聞いていた受講生であったが、真剣にうなずきながら聞く受講生が多かった。
- 講義のキーワードであった「和を以て貴しとなす」、「万機公論に決すべし」を知事と一緒に声に出して読んだことが多くの受講生の印象に残ったようである。

### ○矢野弘典講師「心のキャンバスに夢を描こう」



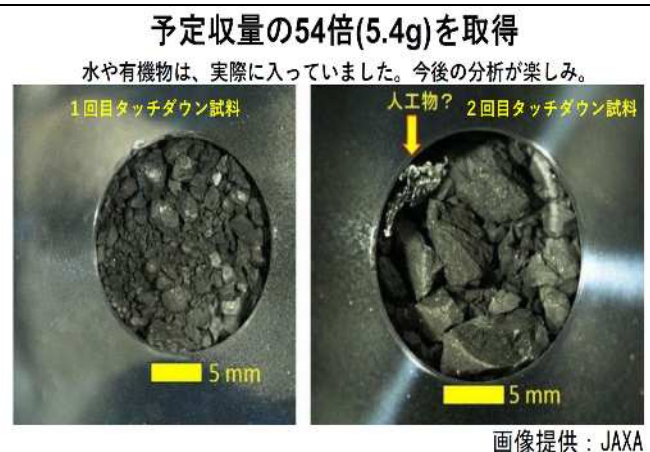
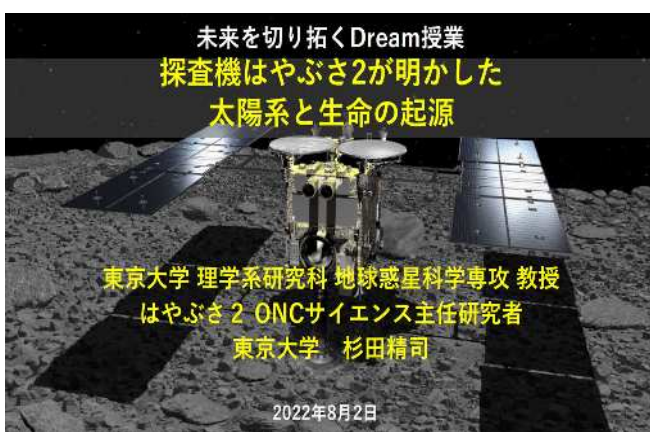
- 矢野講師のこれまでの人生の振り返りから、「仲間や周囲の人のサポートがあってここまでこれたこと」や「互いに尊敬の念を持つことの大事さ」を教えていただいた。
- 「人、地、時」の縁を大事にしながら、真のリーダーになるためには「徳を積む」、「才能を磨く」ことが必要であると教えていただいた。

## ○加藤種男講師「アートはおまつりだ！！」（オンライン講義）



- ・「芸術や文化は、すぐには他者に理解されないものである。特に若いころは頑張っても周りから評価されないことがあり、ゴッホも絵が売れず若くして亡くなった。」とのお話があった。
- ・「夢を追うのはとても良いことだが、必ずしもうまくいくとは限らない。いろいろな人が挫折を経験し、繰り返している。挫折に悲観しないでほしい。」とのメッセージを頂いた。

## ○杉田精司講師「探索機はやぶさ2が宇宙に探る生命の起源」（オンライン講義）



- ・リュウグウへのタッチダウン後に「世界唯一の地下物質採取」か「世界初のサンプル持ち帰り」かで悩んだエピソードをお話いただいた。
- ・「中学時代の感性は一生を左右することがあるので、大事にすると良い。」といメッセージを頂いた。あこがれであった夢が努力する目標になるとのことであった。

## ○渥美万奈講師「夢を叶えるために」



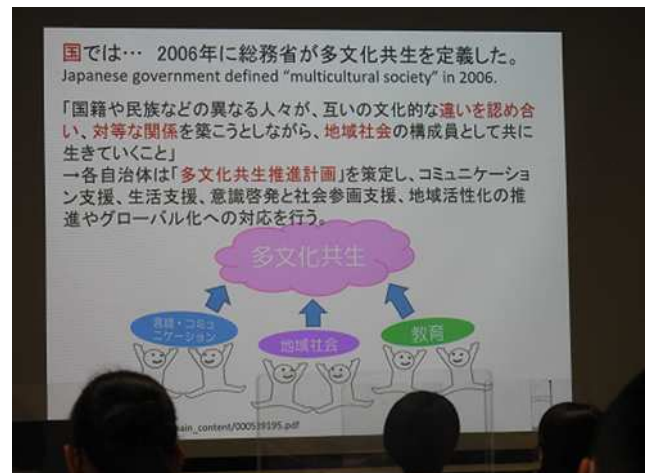
- ・「ソフトボールをやめたくなる時期もあったが、一緒に練習し、一緒に悩める仲間がいた。14年間日記を書き続け、自分を振り返りながら頑張った。」という経験をお話いただいた。
- ・「人との出会いを大切に夢に向かって頑張ってほしい。例え夢が叶わなかったとしても、努力や失敗は必ず財産になる。いろいろなことに挑戦してほしい。」とのメッセージを頂いた。

## ○高畑幸講師「多文化共生ってなんだろう」



○文化とは、目、食べ物、行動のしなどを総合的に Culture is a totality clothing, food, beh

●これから、10枚で、自分の文化と  
思うかを、ワーク  
I will show you 10  
looks "similar to"  
culture.



- ・「多文化共生」という言葉の意味を説明いただいた。在留外国人が増えている中、静岡県や静岡市等の多文化共生への取組などを紹介いただいた。
- ・全く異なる文化であっても根底ではつながっているという「島モデル」、多文化や文化のつながりの説明を受け、受講生は納得の表情で聞いていた。

## ○ALTとの交流



- 各研修班にALTが入り、苦戦しながらも英語でインタビューや意見交換をしていた。
- 徐々に笑顔が出てきて、積極的に会話をするようになった。
- 身振りを含めた意見交換ができ、外国の文化の一端を知ることができた。

## ○SPAC劇団員「静岡から世界へ 舞台俳優の仕事について」



- SPAC（公益財団法人静岡県舞台芸術センター）についてだけでなく、演劇や舞台俳優の仕事等についてもお話いただいた。
- 「自分の体をコントロールしよう」ということで、舞台俳優が行う「体の重心を意識したトレーニング」等を体験した。また、シナリオの朗読指導では、同じ文章であっても、読む人が変わると雰囲気も一変することを体験した。

## ○加藤百合子講師「自分を表現しよう！」



- ・菊川市上倉沢のせんがまち棚田へ出向き、菊川ジュニアビレッジ※の概要説明の後、ハーブの収穫体験を行った。収穫したステビア（甘草）の葉を口に入れると甘みを感じ、感動している様子だった。
- ・「将来働くためには知識（言葉や計算）が必要で、義務教育の期間が大事になる。得意教科を楽しく学ぶことが大事で、苦手な教科は後からついてくる。」とのお話があった。
- ・「将来稼ぐには、普通の人ができないことをする必要がある。これを、希少性といい、相手から希少だと思われることが大事である。社会の仕組みを理解していくことが必要である。」とのメッセージをいただいた。

### ※菊川ジュニアビレッジ

小・中学生に農業体験、自分たちが生産した農作物の加工・流通・販売等を経験する機会を提供し、学校や家庭では経験できない学びを通じ、社会を生きるのに必要な力を育てている。

## 7 グループディスカッション・発表

### 1 グループディスカッション

#### (1) 進め方・時間配分等

「理想のまちをつくろう」をテーマにグループディスカッションを行った。ディスカッションを行う前に、日程、発表までの流れや中間発表、発表本番の方法、投票の方法等を説明した後、ワークシートを配布し、各自が書いた事前課題の内容を班内で共有した。その内容を基に、どのポイントでディスカッション（発表）を進めるかを決め、実際に班内でディスカッションを進めた。

時間を持て余す班や最終日の発表に間に合わない班はなく、時間設定は適切だった。

#### (2) 受講生の様子

受講生の多くは、主体的、積極的にディスカッションに参加し、各研修班では活発な議論が行われた。一部の班では、かなり白熱した議論が行われ、考え方の違いから、話合いが止まってしまったり、意見が激しくぶつかったりする場面も見られたが、ユースリーダーの助言を受けながら、受講生自身の力で乗り越えることができた。

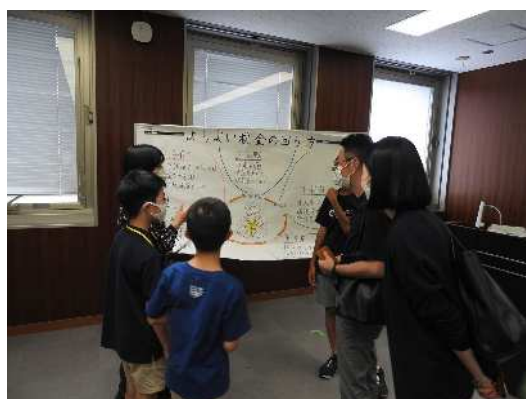
このような経験により、自己の意見を他者に納得してもらおうことの難しさや、他者の意見を受け入れることの大切さを学ぶことができた。



### 2 発表

各班 10 分の持ち時間で発表を行った。その後、各班それぞれのブースに分かれ、来場した保護者も含め、参加者同士で意見交換を行うポスターセッションを実施した。

各班がまとめた「理想のまち」は以下のとおり。



【A班】「よりよい税金の回り方」



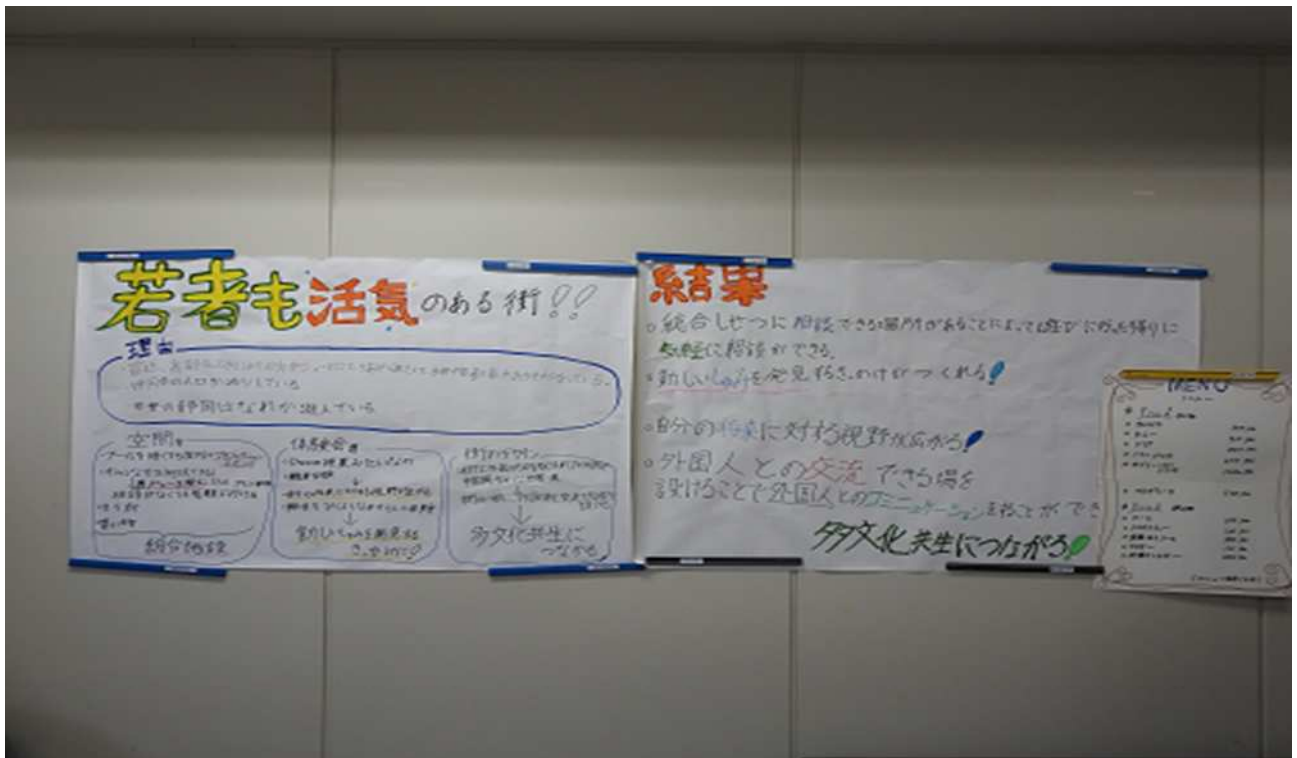
【B班】「唯一無二の Dream City」



【C班】「持続可能な社会～誰でも安心して暮らせる町～」



【D班】「若者も活気のある街」






【E班】「子供と環境にやさしい町づくり」

**子供と環境に  
やさしい町づくり**

<p><b>子供</b></p> <p>〈学校でできること〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化</li> <li>・環境問題に関する授業</li> <li>・CO<sub>2</sub>削減の活動</li> <li>・バイオマス発電</li> </ul>	<p><b>環境</b></p> <p>〈身近な事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水や電気を節約する</li> <li>・ゴミを減らす</li> <li>・電気を自動</li> <li>・折り紙を代わり</li> <li>・電気を節約</li> </ul>
<p><b>バイオマス発電</b></p> <p>ごみを利用して、 電気をつくる発電 方法です。 学校の給食の残飯 などのごみを利用 します。</p>	<p><b>水力発電</b></p> <p>水力発電は再生可能エネルギーの 中で効率がよく、水質や空 気汚染をほとんど発生 しません。 水（発電機）を流すにつれてた めに今まで使われていた 利用します。</p>
<p><b>子供食堂</b></p> <p>子供1人でも気軽に利用できる食 堂で、お金がない子供でも無 料で美味しいご飯を食べるこ とができます。</p>	<p><b>電気自動車</b></p> <p>ガソリン車のエンジンと電池に して走る車。 充電する場所とコンセント、ガソリン スタンドなどに置き、たくさんの人に 使われています。</p>



## 8 受講者の振り返り

### 1 振り返りレポート

授業終了後、受講生に「振り返りレポート」を記入してもらった。

#### (1) 講義について

多くの受講生が、講義を通して

- ・将来の夢に一步でも近づくための手掛かりを見付けることができた。
- ・講義の内容が自分にとって大切なものを発見したり、改めて感じる事ができた。
- ・人との関わり方、生きていく上で心がけていくべきこと、将来の夢を実現するためにどうすべきか等、たくさんのことを学ぶことができた。

など、自分の夢や将来に対して、より前向きに取り組もうという意識に変化したことが伺える。

#### (2) 仲間との共同作業・共同生活について

4日間、一緒に活動した中で

- ・普通にしていたら知り合えない他の市（町）の人と友達になれた。
- ・初日ははじめなかったけれど、2日目にはじめて楽しかった。最終日は「もう最後か」と思えるようになってよかった。
- ・初めて個室に3泊して新鮮に感じた。

など、人間関係が広がったことや、コロナ禍で宿泊を伴う行事に参加できたことが印象に残っているようであった。

#### (3) 振り返り（発表）

4日目の最後に、受講生全員が4日間を振り返り「1分間スピーチ」を行った。3泊4日の全てのプログラムを受講しての感想や将来に向けての思いなど、それぞれが堂々とした姿で皆の前で発表を行った。観覧に来ていた保護者の方々も、子どもの成長した姿を盛んに写真に収めていた。



## 9 受講生アンケート集計結果

受講生には、全日程終了後にD r e a m授業全般についてのアンケートを実施した。主要な質問に対する回答結果は下記のとおりである。

なお、受講生1名が2日目以降を受講せず帰宅し受講していないため、事後アンケートの対象としていない。このため、回答数が29人となっている。

問 「未来を切り拓くD r e a m授業」に参加して良かったですか。

1	とても良かった	21人	72.4%	} 96.5%
2	良かった	7人	24.1%	
3	普通	1人	3.4%	
4	あまり良くなかった	0人	0.0%	
5	良くなかった	0人	0.0%	
合計		29人		

○「とても良かった」「良かった」を選んだ理由（主なもの）

仲間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内各地の人と仲良くなれた。</li> <li>・D r e a m授業に参加しなければ出会わなかったかもしれない仲間だと思いとすごいと思った。</li> <li>・授業を受けるのは楽しかったし、仲間と一緒に行動し、何かをするというのも楽しかった。</li> </ul>
新しい知識や考え	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの講義も、自分に新しい視点を与えてくれた。</li> <li>・皆と色々話し合うことで、新しい考えを知ることができた。</li> </ul>
自分の成長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人前で話すことやコミュニケーションをとるのが苦手だった自分にとって、とても貴重な経験ができた。</li> <li>・人との関わり方、生きていく上で心掛けること、将来の夢の実現のためにどうすべきかを学ぶことができた。</li> </ul>
夢や将来	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有名な人の講義を聞くなど、貴重な体験ができた。大人になるための良い手掛かりをつかめた。</li> <li>・将来の夢に一步でも近付くための手掛かりを見付けることができた。</li> <li>・自分の未来に関する構想が増えた。</li> <li>・私は将来についてあまり深く考えてこなかったのですが、同じ中1、中2の子でもこんなに具体的な夢を持っているんだと、今の自分を見直すきっかけになった。</li> </ul>

○「普通」を選んだ理由

講義時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義はとても興味深いものばかりだったが、講義時間が少し長いと感じた。</li> </ul>
------	---

問 授業の日程は長かったですか、短かったですか。

1	長かった	4人	13.8%
2	ちょうど良かった	16人	55.2%
3	短かった	9人	31.0%
合計		29人	

（「1 長かった」「3 短かった」と答えた13人）どのくらいの日程が良かったか。

1	1日	0人	0.0%
2	2日	3人	23.1%
3	3日	1人	7.7%
4	5日	7人	53.8%
5	6日	2人	15.4%
6	その他	0人	0.0%
合計		13人	

## 10 保護者の感想

D r e a m授業終了後に保護者に対してアンケートを実施した。学習面だけでなく、生活面等においても、D r e a m授業参加前に比べて、意欲的、前向きに行動しようという意識が高くなったようである。また、実際に積極的に行動している様子も伺えることから、参加後すぐに、受講生の意識の変化が行動に現れたと考えている。

主な意見は以下のとおりである。

問 D r e a m授業参加後のお子様に、どのような変化がありましたか。

学習面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机に向かい課題に取り組む姿を多く見るようになった。</li> <li>・好きなこと、興味のあることに対してより前向きに取り組むようになった。</li> <li>・自分の進路を真剣に考えるようになった。</li> <li>・今勉強することが、自分が将来望んだ未来につながるというモチベーションで取り組むようになった。</li> <li>・今までは分からないことがあると誰かが助けてくれるまでじっと待っていることが多かったが、分からないことを分からないと自分から言えるようになった。そして自分から教えてくださいと言えるようになった。</li> </ul>
生活面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を決めて行動するようになった。</li> <li>・後ろ向きなことが減り、問題があったらどうしたら解決できるか自分で考えて提案するようになった。</li> <li>・ユースリーダー、受講生、スタッフに刺激され、生き生きして帰ってきた。</li> <li>・自分が世の中に役立つことを以前より考えるようになった。</li> <li>・自分の考えや思っていることを自分の言葉で発表したり、伝えることができるようになった。</li> <li>・自分の気持ちを伝えることで理解してもらい、相手の話を聞くことで知ることができると分かったようである。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動への参加に意欲的になった。</li> <li>・学年代表として発表する機会を与えられた際、それを見た高2の姉が驚くほど堂々と発表していた。</li> <li>・一人で参加し、今まで接したことのない方々と出会ったことにより自信がついたのか、背筋が伸びた。</li> <li>・生徒会役員選挙に立候補した。</li> <li>・新聞で県内のニュースを読むようになった。</li> </ul>

問 D r e a m授業参加後のお子様の感想で、特に印象に残る内容はどのようなものですか。

- ・何でも意識して参加するようになった。
- ・もし同じクラスだったとしても交流がないであろうタイプの子と話せて新鮮さがあった。
- ・S P A Cの公演を見に行っていたので、特に印象に残った。
- ・充実した4日間だった。楽しかった。
- ・自分と似た考え方を持った友達や、自分より優れたスキルを持つ友達の話などがあった。
- ・初対面の人と協力する経験が得られた。
- ・将来の夢への考え方が変わった。
- ・皆がすごくしっかりビジョンを持っていて、とても良い刺激を受けた。
- ・参加できてよかった。
- ・参加前は緊張していたが、実際にその環境に入ってしまうと、楽しい経験だった。
- ・得意とする英語をきっかけに友人もできたようで、特技を持つことの大切さが分かった。
- ・知らない子、知らない大人の中で3泊4日過ごし大変だった。
- ・ユースリーダーに助けられたので、今度は自分がD r e a m授業に協力したい。
- ・友達になった子と高校生になったらユースリーダーをやる約束をしてきた。

# 11 ユースリーダー

ユースリーダーは、授業の運営の一翼を担うボランティアとして、過去の「未来を切り拓く Dream授業」及び「日本の次世代リーダー養成塾」の参加者に協力を呼び掛け、大学生2名、高校生6名の計8名に協力していただいた。

ユースリーダーには、授業の準備、講義内容の記録作成、授業の様子の写真撮影といった事務的な作業だけでなく、受講者に対する助言、生活全般の指導など、様々な場面で協力していただいた。ユースリーダーの力なくして授業を円滑に進めることは不可能であった。ユースリーダーの活躍に感謝するとともに、敬意を表したい。

ユースリーダー自身も、講義の後の振り返りやディスカッションで助言したり、悩みに寄り添ったり、一緒に生活したりしていく中で、大きく成長していく姿が伺えた。発表の準備を進める中では、笑顔でアドバイスしたり、時には一緒に涙を流しながら悩んだり、親身になって寄り添う姿が印象的であった。この経験が自らの夢に向かって努力を続けることにつながり、社会に大きく羽ばたいていくことを願っている。

## 1 受講生のユースリーダーに対する感想

事後アンケートからは、

- ・いつも楽しそうにしていた。4日間、ずっと仲良くしてくれた。
- ・グループディスカッションの時に、的確なアドバイスをくれた。
- ・部屋での生活で困ったことがあったときにすぐに対応してくれた。
- ・グループ発表の準備の時、自分がグループの中で意見を言えるようにしてもらった。
- ・「理想のまち」を考えるときに「もっと自由な発想で良い」とアドバイスをくれた。
- ・部屋で中学生の時にどんなことをやったかを話してくれた。
- ・班活動の時に色々なアドバイスや話をしてくれた。また、場の雰囲気をととても楽しく、明るくしてくれた。
- ・ユースリーダーと一緒に、班で自分の夢を語れたことがとても印象に残った。
- ・なかなか自分の夢や将来のことを語る機会はなかったので、ユースリーダーや他の受講生がどんな夢や将来の目標を持っているのか知ることができて参考になった。

など、受講生と年齢が近いため、身近で相談しやすい存在であったことが伺える。



令和4年度 未来を切り拓く Dream 授業 報告書

静岡県スポーツ・文化観光部総合教育局総合教育課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電 話 054-221-3764

F A X 054-221-2905

電 子 メール [sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp)